

階差数列の性質

- 数列 $\{a_n\}$ の階差数列とは $b_n = a_{n+1} - a_n$ で定義される数列 $\{b_n\}$ のことである.
- $a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k$

追加問題（問題 9.6 (2) について）数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めなさい.

- ① 階差数列は初項が 1, 公差が 1 の等差数列である. したがって,

$$\begin{aligned} a_n &= 0 + \frac{(n-1)\{2 \times 1 + ((n-1) - 1) \times 1\}}{2} \\ &= \frac{n(n-1)}{2}. \end{aligned}$$

- ② 階差数列は初項が 2, 公差が 1 の等差数列である. したがって,

$$\begin{aligned} a_n &= 1 + \frac{(n-1)\{2 \times 2 + ((n-1) - 1) \times 1\}}{2} \\ &= 1 + \frac{(n-1)(n+2)}{2} \\ &= \frac{2 + (n^2 + n - 2)}{2} \\ &= \frac{n^2 + n}{2} = \frac{n(n+1)}{2}. \end{aligned}$$

- ④ 階差数列は初項が (-2) , 公比が (-2) の等比数列である. したがって,

$$\begin{aligned} a_n &= -1 + \frac{(-2) \times (1 - (-2)^{n-1})}{1 - (-2)} \\ &= -1 - \frac{2}{3} (1 - (-2)^{n-1}) \\ &= \frac{2}{3} (-2)^{n-1} - \frac{5}{3} \\ &= -\frac{(-2)^n}{3} - \frac{5}{3}. \end{aligned}$$